

授業概要

地理学は地域の人文・社会・自然現象を総合的に把握し、その性格や特色を明らかにし、地域の成り立ちや空間的分布、地域構造を考察していくことを目的としている。人文地理学においては、人間の諸活動の地域的分布や相互関係、生活様式などを考察していくことを目的としている。

授業ではまず地図に関する講義を行う。そのあとは国家の条件と国連の役割、民族と人種、世界の首都に関する内容を講義する。続いて、日本の市町村、都市制度、観光と余暇に関する講義を行う。地域を見る、地域を知るということを念頭に置き、授業を進めていきたい。地図帳を持参すること。

授業計画

第1回	授業ガイダンス
第2回	地図の定義（1）地図とは何か
第3回	地図の定義（2）地図の種類と分類
第4回	地図の歴史（1）世界地図の発達と歴史
第5回	地図の歴史（2）世界地図の中の日本
第6回	世界の姿（1）国家の条件と国家のつながり
第7回	世界の姿（2）世界の民族と人種
第8回	確認テスト：前半の確認と補足説明
第9回	現代日本の姿（1）地域統計と人口
第10回	現代日本の姿（2）日本の市町村
第11回	現代日本の姿（3）日本の都市制度
第12回	現代日本の姿（4）都市圏の広がりとう都市システム
第13回	現代日本の姿（5）観光産業と観光資源
第14回	現代日本の姿（6）休暇と余暇活動
第15回	まとめ：授業のまとめと補足説明
第16回	期末試験

到達目標

地理学的な見方・考え方を学ぶとともに、一般常識としての「地理」の知識や教養を身に付けることを目的とする。また、地図を正しく読むことができるようになり、地域のことを正しく理解できるような素養を身に付ける。

履修上の注意

授業は講義を中心となるが、作業も行う。履修者の人数により、内容を変更する場合がある。当然ながら、授業中の私語や私事は禁止である。

地図帳を持参すること（二宮書店もしくは帝国書院が望ましい）。

予習・復習

日常的に新聞やニュースなどにより、地域の出来事に関心を払って欲しい。知らない地名や聞いたことの無い地名があった場合には、地図帳で確認すること。

評価方法

定期試験（持込不可）：70%

平常点（リアクションペーパー・受講態度等）：30%

テキスト

プリントを配布する。